

静岡県熱海市伊豆山で発生した土石流災害

あいぞめがわ

○梅雨前線による大雨に伴い、令和3年7月3日10時30分頃に静岡県熱海市伊豆山の逢初川で土石流が発生。

○逢初川の上流部 標高約390m地点で発生した崩壊が土石流化し、下流で甚大な被害が発生。

○熱海雨量観測所における降り始めからの総雨量は400mm以上。7月2日12:30に土砂災害警戒情報発表。

【位置図】



【土石流による被害状況等】



被害状況(7/5撮影)
(写真は国土地理院)

【土石流発生前後の降雨量】

※発災時刻は報道情報による



静岡県熱海市伊豆山 逢初川で発生した土石流災害に対する対応状況

国土交通省 砂防部

令和3年7月12日 17:00現在

- 土砂災害専門家が現地調査。斜面監視装置の設置や、搜索作業中止判断基準の提案等、技術的助言を実施。(7月4日～)
- TEC-FORCEによる監視カメラ4基の設置完了。静岡県や熱海市等の関係機関とカメラ画像を共有。(7月5日～)
- 土砂災害専門家の助言を受け、静岡県が雨量計や崩壊地上部に斜面の変動状況を計測するための伸縮計を設置。(7月7日)
- 静岡県が「逢初川土石流災害対策検討委員会」を立ち上げ。県からの要請により、国土技術政策総合研究所土砂災害研究部砂防研究室長と中部地方整備局総合土砂管理官が委員会に参画。(7月7日)
- 斜面の監視観測結果等とエリアメール(市内全域)やサイレン、回転灯を組み合わせた監視警戒体制を構築。(7月9日)

【監視警戒体制】

降雨量が基準値を超えた場合、監視カメラで土石流の発生の恐れがある場合、及び地盤伸縮計で基準値以上の変状の進行が確認された場合には、エリアメールやサイレン、回転灯で危険性を周知。

伸縮計設置位置



伸縮計設置状況



背景の航空写真は、2021年7月6日撮影(国土地理院)

凡例 ○: 監視カメラ

●: 伸縮計

■: 雨量計

---: 逢初川の被災前の流路(推定)

カメラ映像の配信状況



照明車により夜間も監視可能



雨量計設置状況



サイレン等の設置状況



国道135号

東海道新幹線

JR東海道線